

事業報告シート

事業分野	もの・まち・くらし・その他	登録日	平成29年10月3日		
事業名称	第42回 北海道建築士会全道大会（後志大会）C分科会				
開催日時	平成29年9月30日（土） 12:30～14:30	会場	倶知安町文化福祉センター 中ホール		
ふりがな	ほっかいどうけんちくしかい せいねんいんかい				
活動団体名	北海道建築士会 青年委員会				
事業の目的	<p>昨年3月北海道新幹線が開業しました。そして13年後の2030年までの札幌延伸に向け、建設工事が進められており、倶知安町にも新幹線駅ができます。現在倶知安町では各団体や新たな組織を立ち上げ、将来を見据えたまちづくりとして検討している状況です。私たち建築士会も平成27年度青年建築士の集い（後志大会）をキックオフイベントとし、いろいろな問題点や意見の収集を行いました。今回のC分科会では一般の方々と交えてワークショップを行い、地域と連携したまちづくりの提案を目指します。</p>				
主な事業内容	<p>「新幹線が夢を運ぶ!! 倶知安のまちを考えよう ～2nd Step～」 倶知安駅前にある石蔵に着目し、駅前の再開発をふまえて、今後の利活用を9テーブルに分かれて話し合いました。参加された町民の方々から地元の情報や要望などの意見・アドバイスを頂き、建築士が利活用の提案をするカタチとしました。利活用の用途を「商業施設」「多目的施設」「文教施設」「公共施設」「子ども向け施設」の5つとし、前回のワークショップ(平成27年 青年建築士の集い 後志大会)の時に出了意見等も参考にしながら話し合い、「提案概要」「エスキス」「イメージパース」を作成しました。</p> <p>【ワークショップ】 「①意見出し」～駅前の現状や町民の要望 「②分類発表」～5つの分類発表 「③コンセプト」～建物のコンセプト(概念)や施設名称 「④エスキス及びイメージパース作成」</p>				
事業収支					
参加者	本部	青年建築士	連合青年他	一般参加者	合計
	10名	88名	4名	25名	127名
建築士の関り	町民の方々の思いや要望・意見を頂き、5つの分類について提案をした。				
今後の検討課題	この石蔵の利活用方針が決定した際には、次のStepとして耐震や費用面の検討など微力ながらかわっていききたい。				
連携・協力組織等	倶知安町、倶知安商工会議所青年部、倶知安青年会議所、倶知安建設業協会				
活動状況写真	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 45%; text-align: center;">  </div> </div>				
■ C分科会の様子	■ テーブルの様子				
ふりがな	ほっかいどうけんちくしかい せいねんいんちよう いしづか なおや	TEL/FAX	011-251-6076 / 011-222-0924		
事業代表者氏名	北海道建築士会 青年委員長 石塚 尚也	E-mail	info@h-ab.com		
団体所在地	北海道札幌市中央区大通西5丁目11番地	URL	http://h-ab.com/committee/seinen/		